

世界史B

第3問 世界商品と貿易システムについて述べた次の文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）に答えよ。（配点 25）

A ポルトガルやスペインを先頭とする西ヨーロッパ勢力の海外進出によって、西ヨーロッパを中心に世界の諸地域を国際的な分業体制に組み入れる、新しい世界システムが形成されるようになった。まず、インド航路の開拓に成功したポルトガルは、16世紀前半には、主に①イスラーム教徒の商人がダウ船をあやつって活躍するインド洋交易に参入し、さらに②東南アジアに進出して香辛料を獲得した。また、新大陸ではブラジルを領有して③黒人奴隷を使役するサトウキビ栽培のプランテーション経営を展開した。当時の重要な世界商品である香辛料・黒人奴隷・サトウキビを獲得したポルトガルは、大西洋とインド洋を結ぶ貿易システムの覇権を掌握した。



エンリケ航海王子記念碑（ポルトガル リスボン）

問1 下線部①に関連して、イスラーム諸王朝について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 19

- ① ウマイヤ朝は、タラス河畔の戦いで唐軍を破り、中央アジアに進出した。
- ② シーア派のファーティマ朝は、アッバース朝のカリフの権威を否定した。
- ③ スンナ派のブワイフ朝では、イクター制が採用された。
- ④ セルジューク朝は、バグダードを占領してアッバース朝を滅ぼした。